

# Amigo i INFOR

## わんちゃんのお手入れ Vol.1

### シャンプー

日頃のお手入れを通じて愛犬とのコミュニケーションをとったり、体の異変にいち早く気づいてあげましょう。

### お手入れ用品

◎シャンプー



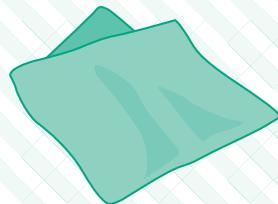
◎リンス



◎吸水タオル



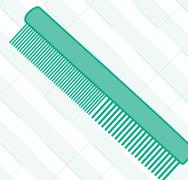
◎バスタオル



◎スリッカー  
(長毛種用)



◎コーム(両方)



くわしくは  
お店の人に  
聞いてね。



アミーゴ  
HP

<https://amigo-pet.co.jp/>

アミーゴ

検索



## シャンプー



被毛を清潔に保つために、1ヶ月に1回はシャンプーをしてあげましょう。

### 1 状態チェック

まずは身体を触りながら、名前を呼びかけて緊張をほくしてあげてください。飼い主さんの優しい声とスキンシップは気持ちを楽にさせます。身体を触ってあげるのは、熱がないか、皮膚の状態がどうか(体調がいいか)を確認することにもなります。そして体全体のブラッシングを行います。毛玉ができていたら、この時点できちんとほぐすこと。水を含むと毛玉はさらに硬くなりますのでここで手抜きは禁物です。傷や皮膚の状態などのチェックもしっかりしましょう。

### 2 体全体を濡らす

お湯をまんべんなくかけていきます。温度は36~38度くらい、触って少しぬるく感じるくらいです。シャワーヘッドを皮膚に軽く押しあてて、[おしり→後肢→背中→胸→前肢→顔]の順にお湯をかけます。全身をしっかりと濡らして毛穴を開き、汚れを浮き出させます。

### 3 肛門腺をしぼる

肛門の両側斜め下のところを、優しく押し出します。この肛門腺には分泌物がたまるので、定期的に絞ってあげなくてはなりません。  
\*デリケートな部分なので、嫌がったり出にくい場合は無理せず獣医さんやトリミングサロンにお願いしましょう。

### 4 シャンプー剤を付けて洗う

人間の皮膚とわんちゃんの皮膚とは、表皮の構造やpHが違うためわんちゃん専用のシャンプーを使用しましょう。決まった希釈にうすめ、肢のつけ根から汚れやすい足先まで、1本ずつ握ってのみこむようにていねいに洗います。しっぽを持ち上げて、おしりの穴のまわりを軽く泡立てます。内股は汚れやすい部分なので、特にていねいに洗います。次に胸や背中是指の腹を使ってカラダをマッサージするように泡立てていきます。顔は最後に洗い、両手で包みこんでなでるようにやさしく洗います。



### 5 シャンプーを洗い流す

【頭→耳→顔→背中→胸→前肢→おなか→おしり→後肢】の順に、カラダの高い位置から泡を落としていくような感じでシャンプーを洗い流します。

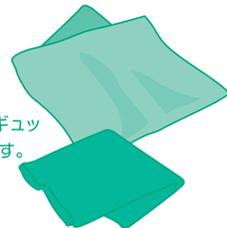
### 6 リンスをする

シャンプーをしっかりと洗い流したら、必要に応じてリンスをします。毛がばさついているようならトリートメントを使用されるのもおすすめです。濯ぎはしっかりとします。



### 7 水気を吸い取る

ベッタタオル(吸水タオル)で包み込んで、ギュッとギュッとおさえるようにして水気を吸い取ります。



### 8 乾かす

皮膚に湿り気が残っていると、蒸れて皮膚炎やニオイのもとになってしまいます。ですからシャンプーの後は、皮膚や被毛をじゅうぶんに乾かしておくことが大切です。ある程度水を吸い取ったあとは、普通のタオルでさらにしっかりと水気を取り除きます。水気が減ることで、ブロー時間も短縮できます。おしりから首、胸、お腹、前肢・後肢と順番にドライヤーを使って乾かしていきます。スリッカーブラシを使って被毛をとかしながら、被毛をかきわけて地肌も乾かします。犬の毛は、半乾きだと毛根から水分が出てきて蒸れてしまいます。ですから、地肌からしっかりと乾かしていきます。内側は乾きにくいので、注意しながらていねいに乾かしていきます。  
※ドライヤーハンガーを使用したり、エプロンを着用していればエプロンの胸に引っかけると、両手が使えて便利です。しっぽの先までブローし終わったら、地肌まで半乾きの部分がないかを被毛をかき分けたり全身をさすったりしてすみずみまでチェックします。最後にコームやブラシなどで毛を整えて完成です。

### アミーゴのおすすめトリミングサイクル

- 最低1ヶ月に1回のシャンプーをおすすめしています。皮膚・被毛が良い状態を保てます。
- トリミングに出すとわんちゃんの変化が分かります。病気などの早期発見に繋がります。
- 仔犬時からしっかりシャンプー慣れをする為に定期的にトリミングに出すことをおすすめします。

専任のスタッフによるトリミングでわんちゃんをキレイにしませんか？

